



令和6年度 枚方トピックス20号



3月 10日 関西医大リハビリテーション学部作業療法学科 学生さんとの交流会

作業療法学科の学生さんと加藤先生、松島先生のご協力で、働くことへの理解を深める交流会を開催しました。(循環器病センターの子どもたちは、オンラインで参加しました)
まず、学生さんから、患者さんに寄り添って、一緒にやりたいことを支援していく作業療法士のお仕事について教わりました。病気のご家族やお話しするのが難しいお友だちの手助けをしたい、という想いが、作業療法士を目指すきっかけだったそうです。

上手にハサミやお箸が使えなくても、ロールカッターやはしぞうくんのような自助具があればできることを実践動画でみていただき、「おーっ！」の驚きの声が出ていました。



ロールカッター



はしぞうくん

次は、ふしぎなおもちゃがでてきて、どんなあそび方をするのかを教わりました。あそびに夢中になっている子どもたちの様子から、作業療法士の様々な役割が見えてきました。さいごに、学生さんのマジックショーをみました。

なぜかコインが、密封容器の外から通り抜けて中に入る場面(※1)。サイコロの入った容器をふっただけで、中のサイコロの色が変わる場面(※2)。「えー、なんで?」「すごいなあ。」の連続。種明かしや交流会が終わっても、マジックの話題が続きました。

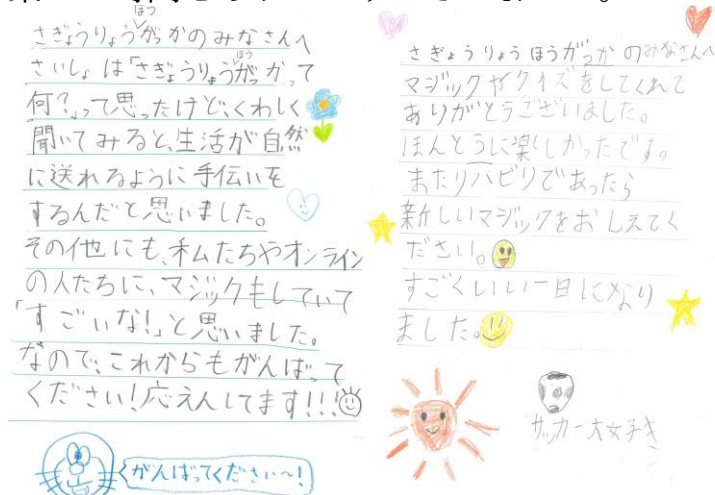


コインが容器を貫通(※1)



容器の中のサイコロの色が変化(※2)

1名の学生さんは、4月から関西医科大学附属病院に就職されるそうです。「それなら、リハビリの時間に、新しいマジックを教えてもらおう。」と話す子どもたちでした(笑)
楽しい時間をありがとうございました。



児童たちが書いた学生さんへのお礼の手紙



作業療法学科の学生さん